



No.143

平成25年12月10日

議会広報

いえん

いえん No.143 平成25年12月10日



▲子ども会発表会で国頭さばくいを踊る東江前区子ども会

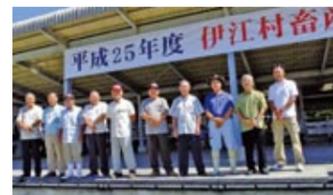
- 平成24年度決算 2
●一般質問..... 4
●意見書・決議書、議決結果..... 10
●議会の研修報告..... 11
●総務常任委員会所管事務調査報告・ 12
●経済・公営企業所管事務調査報告・・ 13
●議会の活動..... 14

発行/伊江村議会
〒906-0592 沖縄県伊江村字東江前38
TEL:0980-49-2924
編集・印刷/(有)サウニス
TEL:098-889-7421

議会の活動

平成25年9月

- 3日: 北部振興会総会(議長)
4日: 北部地域における基幹病院の創設に関する要請(議長)
JA園芸生産組合総会(副議長)
5日: 伊江村畜産共進会(全議)
6日: 議会広報委員会(広報特別委員)
12日: 議会運営委員会(議会運営委員、議長)
14日: 伊江村陸上競技大会(全議)
18日: 9月定例議会(20日まで)
20日: 平成25年度葉たばこ販売視察(全議)
26日: 北部地区畜産共進会(経済・公営企業委員、議長)
28日: 西小学校運動会(西校区議員)
29日: 伊江小学校運動会(伊江校区議員)



▲伊江村畜産共進会を視察



▲葉たばこ販売視察

平成25年10月

- 1日: 総務常任委員会所管事務調査~4日まで
4日: たばこ販売終了会(議長)
12日: やんばる産業祭り(議長)
13日: 川平区民俗芸能発表会(全議)
15日: 議会運営委員会(議会運営委員、議長)
全員協議会
18日: 日本青年会議所2013年度沖縄地区協議会(議長)
20日: 国頭郡陸上競技大会(全議)
21日: 経済・公営企業常任委員会所管事務調査~24日まで
26日: 第8回臨時議会
27日: 老人・婦人運動会(全議)
29日: 町村議会定例理事会及び総会(議長)
飲酒運転根絶県民大会(議長)
30日: 町村議会議員・事務局研修会(全議)
31日: 離島振興町村議会議長会(議長)



▲総務常任委員会所管事務調査



▲経・公常任委員会所管事務調査

平成25年11月

- 1日: 灯台145周年記念祝賀会(議長)
6日: 北部地区基幹病院設立に関する勉強会(全議)
7日: 全国火災予防運動に係る防火デー式(全議)
8日: 沖縄県畜産共進会(経済・公営企業常任委員会、議長)
9日: 村政功労者表彰式・民俗芸能発表会(全議)
11日: 町村議会議長全国大会及び離島議長会全国大会
並びに北部市町村議会議長会研修会(議長)~18日まで
15日: 離島フェアオープニングテープカット副議長)
16日: 離島フェア視察(総務常任委員会)
17日: 伊江村郷友会運動会(全議)
23日: 緑の育樹祭(議長)
25日: 暴力団追放沖縄県民大会(議長)



▲防火デー

どうぞ傍聴席へ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



TEL 0980-49-2924(直通)

伊江村議会HPで最新情報を!

この紙面に掲載された一般質問や質疑応答の内容は、会議録に基づいて一部を要約したものです。さらに詳しく知りたい方は、各区公民館、中央公民館、村議会HPで会議録をご覧ください。



http://www.iejima.org/iegikai/
(伊江村のホームページからもアクセスできます。)

村政の9月定例会 一般質問

ここを問う!

1. ドクターヘリ周年運航に向けた助成について

村長/適正な時期に効果的な支援をしていきたい



島袋 義範 議員

問 現在、北部医師会病院を中心とした民間団体「MESH(メッシュ)」の自主運営による救急患者の搬送業務がヘリコプターを利用して実施され、多くの人命が救われ喜ばれている。しかし、運営経費は会員の会費や一般からの寄附金等の浄財によることから、周年運航の費用を確保することができず、今年は6月になりようやく運航が開始された。いつでも安心して暮らせるように、周年運航を実現してほしいとの声もあがっている。村民の尊い

答 命を守ることは、行政に課せられた優先すべき大事な仕事だと考える。本村ではドクターヘリの運航費用としてこれまでいくらか支出したか、さらに周年運航の継続ができるように、毎年度の予算から支援金を支出すべきだと考えるが、村長はどのように考えているか。

問 万円を計上し、小濱理事長へ贈呈した。平成24年度及び25年度は当初予算において運休状況から予算計上にいたらなかった経緯がある。今後の支援について

答 平成24年度事業に付金事業の目玉として平成24年度に東保育所の建替えを実施し、平成25年度は村民が待望していた人工透析診療所の建設が現在進められている。しかし、新聞報道等で見ると、県全体の執行率は46%にとどまっております。交付通知を受けたものの返還されたとの報道もあった。そこで、一括交付金事業の今後についてお伺いしたい。

問 資金状況をかんがみ、適正な時期に効果的な支援をしていきたい。

1. 伊江港港湾整備うねり対策の進捗状況について

建設課長/沖縄県から受注を受けた委託業者が調査の準備を進めている状況である



内間 広樹 議員

問 昨年11月6日開催の臨時議会において「伊江港港湾整備に関する意見書」が可決され、県庁にて全議員参加のもと当銘土木建築部長に意見書を提出した。また、昨年の沖縄県議会定例会でも伊江港港湾整備に関する陳情が採択された。その後、県・伊江村・本部町と協議会を立ち上げ、協議を進めるとのことだったが、その後の進捗状況についてお伺いしたい。

答 その後の進捗状況として、5月に沖縄県の港湾課長、北部土木事務所所長、港湾担当者から直接伊江港の現状を視察し、平成25年度で海流調査を実施して今後の短期的、長期的なうねり対策を検討するとの報告を受けた。現在、沖縄県から受注を受けた委託業者が調査の準備を進めている状況である。村としても、港湾内にうねりが生じた状況に対応しながら、フェリーが運航可能な改善策がないか、建設課や公営企業課と検討を行い、沖縄県港湾課と協議を進めている。

2. 一括交付金事業の今後の計画について

村長/今後3年間の事業計画で41事業を積上げている

問 本村では、一括交付金事業の目玉として平成24年度に東保育所の建替えを実施し、平成25年度は村民が待望していた人工透析診療所の建設が現在進められている。しかし、新聞報道等で見ると、県全体の執行率は46%にとどまっております。交付通知を受けたものの返還されたとの報道もあった。そこで、一括交付金事業の今後についてお伺いしたい。

答 平成24年度事業に付金事業の目玉として平成24年度に東保育所の建替えを実施し、平成25年度は村民が待望していた人工透析診療所の建設が現在進められている。しかし、新聞報道等で見ると、県全体の執行率は46%にとどまっております。交付通知を受けたものの返還されたとの報道もあった。そこで、一括交付金事業の今後についてお伺いしたい。

問 具体的にわかりやすいように村民に広報あたりで周知をしたほうがいいのではないかと。前村長の時に地域懇談会、行政懇談会を実施すべきではと一般質問したが、これは意見を聞くだけでなく、村が今計画していることを村民にアピールしていくことにならざるを得ない。

問 平成25年度もあと6カ月強だが実施はいくつ頃予定しているか。また、検討会には漁業関係者、観光関係者、貨物業者や商工会等も交えて協議をし、伊江村としての意見を集約すべきではないか。

答 今回、3か所に海流調査の観測記録を設置し、時期を見極めて調査すると聞いています。その観測が12月頃に終わり解析図を通してその業務が報告される。それに基つき沖縄県では短期的、長期的な検討策について認識しているが、

2. ナガラ原第3貝塚発掘調査について

教育長/埋蔵文化財の重要性について認識しているが、工事の目的から観光資源として残すことはできない

問 ナガラ第3貝塚発掘調査現場にて、縄文時代後期、約3千年から4千年前の住居跡と屋外で火を使った炉跡、九州との交易を想像させる貝の装飾品、先史時代と見られる人骨3体を含む多数の出土品が見つかった。太古の人々の生活を知る貴重な遺跡でもあり、今後の調査結果に期待しているが、3点お伺いしたい。

答 今回、3か所に海流調査の観測記録を設置し、時期を見極めて調査すると聞いています。その観測が12月頃に終わり解析図を通してその業務が報告される。それに基つき沖縄県では短期的、長期的な検討策について認識しているが、

問 具体的にわかりやすいように村民に広報あたりで周知をしたほうがいいのではないかと。前村長の時に地域懇談会、行政懇談会を実施すべきではと一般質問したが、これは意見を聞くだけでなく、村が今計画していることを村民にアピールしていくことにならざるを得ない。

村政の9月定例会 一般質問 ここを問う!



内田 竹保 議員

1. 気象観測機器の導入設置について

村長／次年度の気象観測機器の導入に向け取り組んでいきたい

問 気象観測は農業振興や村全体の気象データを把握する上で欠かせない機器だと考えられる。現在唯一、水利事業が浮保有する機器から観測データを提供してはいるが、地下ダム工事が平成27年度末完成後、気象観測がどうなるのか懸念している。村として気象観測機器を導入設置する考えはないか。

答 現在、気象観測機器は伊江水利事業所により公営企業課と西江上公民館に設置しており、村全体の一部しか観測できない状況にある。今後の農業振興にも重要な役割を果たすものであり、気象庁や関係機関から情報を収集し、村全域で気象状況が把握できるように、次年度の気象観測機器の導入に向け取り組んでいきたい。

2. 地下ダム完成後の利用方法について

村長／事業導入については設備等の耐用年数の問題もあるが、県とも協議・要望等を重ね情報を収集している

問 平成27年度末に地下ダム工事も完了し、本村農業にとっても水のない農業から解消されることは画期的である。一方で、かん水施設は整備されたものの、農家のかん水に対する意識も変えなければ、せっかくの施設が皆無になる。そこで溜池と地下水を大いに活用するために、村全体の利用組合等の組織化や利用方法を確立しな

答 平成25年3月議会において、土地改良区の設立に関する質問で、平成26年度末までの設立を目的に土地改良区の施設の維持管理や運営を目的としているものと、答弁した。また、施設の整備を充実させても、収益性の高い水あり農業への転換を図らなければ

農家の所得向上につながることはできず、農家からの要望等も含め、水利用の促進のため散水設備や器具等の導入促進を図ることが重要と考えており、事業導入については設備等の耐用年数の問題もあるが、県とも協議・要望等を重ね情報を収集しているところである。

3. 伊江港・城山等への街頭ビジョンの設置について

村長／街頭ビジョンの設置については、無理だということ考えている

問 本村の観光客も年々増え、観光産業の期待や波及効果がますます高くなっている。村独自で制作したビデオが限られた空間でしか見ることができず、せっかくのビデオが活用されていないのではなか。さらなる観光PRのため、伊江港や城山等への街頭ビジョンを設置して

答 伊江島を訪れる観光客の皆様には、まずそのままの大自然と空気を存分にお楽しみいただきたことと、街頭ビジョンの設置については、機材設置費や毎年の管理費に多額の費用がかかることから無理だということ考えてい

る。伊江港のはにくすホールロビーの大型テレビや郷土資料館への設置等、既存の施設・機材で放映することを主眼として、幅広い観光客の皆様にご覧いただく方法を今後検討していきたいと考えている。

1. 干ばつによる家畜用牧草の収量被害について

農林水産課長／早めに3者で協議をして対策ができるよう取り組んでいきたい



山城 克己 議員

問 沖縄気象台による123年間で最も雨の少ない月となり、農作物への被害が各市町村で取り上げられ、本村でもさとうきびの被害調査が行われ、減収32%と報告された。特に本村の基幹産業である畜産業の牧草地被害については、事の重大さを認識しているものとしてお伺いしたい。

答 概算で収量減収率は、約24%の減収量で、被害金額にすると約5,400万円になる。

問 畜産農家の中には冬場に向けて牧草の確保を始めている農家もある。危機感が農家の方々から聞こえる。助成策の具体的な案はあるのか。

答 村としても早めに対策ができるよう取り組んでいきたい。

問 干ばつの被害による牧草の収量減収率と被害金額

答 村として早めに対策ができるよう取り組んでいきたい。

2. 自然災害における防風、防潮林の被害状況について

村長／クロキ・フクギ等を約5万本植栽したが、約2,400本枯死である

問 去年の大型台風襲来による被害、今年度の少雨傾向による農作物への被害。そして、農地保全整備事業で植栽した防風、防潮林への被害。現地確認したところかなり枯死が見受けられる。今後とも植栽を進める上で、重要な問題であり質問したい。

答 1点目、西部西地区ほか3カ所にクロキ・フクギ等を約5万本植栽したが、約2,400本枯死である。2点目、植栽工期終了後2年間で契約を行って、担当課の管理指導体制については、年度ごとに業者に植栽・除草等の指示を促し、管理体制に努めている。

問 平成20年度以降、植栽をした工区ごとの植付け本数と枯死本数

答 3点目、補植管理体制については、今年度の干ばつで西地区を中心として、8月から散水を開始し、職員を3人増員し定期的に散水、除草を行っているところであり、補植等については、1月から3月が適期であるので、その準備に取り組んでいる。

3. カーフェリー運航時刻の改正と小型高速船の導入について

村長／26年度の一括交付金事業で実施していきたいと考えている

問 台風17号の通過後、港内領域を抜けても港内領域を抜けても港内領域を抜けても港内領域を抜けても

答 交通手段の利便性・快適性の向上を図るとともに、船舶事業の健全経営による持続可能な運航体制のあり方等総合的に調査・研究する必要があること、各課横断的な検討会を一步進め、地域住民や第三者の意見を取り入れ、客観的でより専門的な視点から委託業務として調査・研究を行いたいと考えている。当初はSACO交

問 台風の通過後、港内領域を抜けても港内領域を抜けても港内領域を抜けても港内領域を抜けても

答 交通手段の利便性・快適性の向上を図るとともに、船舶事業の健全経営による持続可能な運航体制のあり方等総合的に調査・研究する必要があること、各課横断的な検討会を一步進め、地域住民や第三者の意見を取り入れ、客観的でより専門的な視点から委託業務として調査・研究を行いたいと考えている。当初はSACO交

村政の9月定例会 一般質問

ここを問う!



名嘉 實 議員

1. オスプレイの訓練による被害について

村長／オスプレイ訓練との因果関係があるとは一概には言い難いものと思料している

問 オスプレイの訓練が昨年10月から強行され、酪農家のKさんは牛に特に影響はないと思っていたが、6月28日に3頭の牛が早産した。1日に3頭も早産するとオスプレイのせいではなにか。オスプレイは訓練場に来る時、島の西側を回ってくるが訓練中はフェンス近くまで飛び回り、帰るときは牛舎の上を通る。このような状態が続くと経営は成り立たないと言っている。オスプレイの6月の訓練は8日間、夜間合計で138回あり、オスプレイの訓練と無関係でないと思うが村としてどのよ

答 今回の乳牛の早産等により、酪農家におかれては経済的・経済的被害を受けておられることを大変憂慮しており、その心情を察し心よりお見舞いを申し上げます。オスプレイの訓練について、乳牛事故の発生原因が科学的な解析や状況にあることからは、オスプレイ訓練との因果関係があるとは一概には言い難いものと思料している。今後とも騒音被害や違反飛行行為がある場合には強く申し入れていきたい。

2. オスプレイ着陸帯6カ所の新設について

村長／地元への配慮に欠けた今回の事案について極めて遺憾に思っている

問 ハリアーパッド北側のオスプレイ着陸帯の建設が進められている。面積合計約1万5千平米の牧草地が被害に遭った。新たな着陸帯の建設計画は新聞報道があるまで議会には公式に一切知らされずに工事が進められ、やがて完成する。そこで3点質問したい。①村に対する着陸帯の増設計画があることを米軍及び防衛局から知らされているか。②9月4日、県議会・市長会・町村長会・市議長会

答 1点目、建設中の着陸帯の増設計画については米軍及び防衛局からの事前通告はなかった。新聞報道で初めて知った状況である。地元への配慮に欠けた今回の事案について極めて遺憾に思っている。2点目、新聞報道を受けて

3. コーラル飛行場の整地訓練と粉塵被害対策について

村長／今後とも関係機関へ運用改善の申し入れをしていきたい

問 現在、米軍のコーラル飛行場の表面がはぎ取られ、整地工事が進められている。過去の例からすれば訓練が始まると西崎・真謝区民は粉塵被害に悩まされることは明らかである。そこで、飛行場表面のコーラルが固着す

答 米軍に対して滑走路表面を転圧工で緻密に締め固め、飛散がないような施工の実施と冬

4. 道路沿いに植栽された枯れ木の処理について

村長／枯れ木や枯死して危険と思われる樹木は早めに処理をしたいと考えている

問 道路沿いに植栽された枯れ木に白アリが住み着いているのが多数見受けられる。できるだけ早く処理すべきだと思うがその計画はあるか。

答 村では去った7月場並里線及び港縦線の道路沿いの枯死した植栽を、建設業協会にボランティア作業を依頼して撤去し

すかさず防衛局に事実関係の確認を行ったが、防衛局も内容を把握しておらず、新聞記者が直接海兵隊に取材をし、新聞報道になったことであつた。防衛局には工事概要及び現場確認できるよう迅速な対応を要請した。また、事前情報もななく、着陸帯の増設工事が実施されたことへの抗議と情報開示を要請した。3点目、新聞報道及び防衛局の情報によれば、オスプレイを含む垂直離着陸の可能な軍用機が使用すること。



仲宗根 清夫 議員

1. 伊江村の畜産振興について

村長／他市町村の動向等も踏まえJA、和牛改良組合等と協議を行い検討していきたい

問 伊江村において、畜産業は大変伸びる可能性のある重要な産業だと思ふ。しかし、たび重なる飼料の高騰などで後継者育成に大変苦労しているのが現状だと思ふ。今後、関係者を集め、*キャトルファーム等の構想も含め若年層の雇用の場を作り、畜産振興を図るべきではないかと思ふが、村当局の構想がないかお聞きしたい。

答 全国的にも畜産業において、担い手育成や後継者不足といった問題に直面している子ども達もいるので、そういつたことでも伊江村の畜産業を今後の大きな産業にするために、伊江



2. 伊江村の下水処理について

村長／下水処理施設の建設は現在考えていない

問 人口5千人規模の島で、下水処理場を持たない島は全国的にもあまりないと聞いている。現在、観光客はその地域が環境にどのくらい配慮しているかが観光地の決定の指標になると言われている。また、最近の下水は枯渇しない資源との考えが常識化している。年間を通し、使用可能な水の確保は伊江村の産業構造も変える可能性があると思ふ。集落内には下水道、遠隔地は合併処理という方法も可能かと思ふが、村当局の考えをお聞きしたい。

答 畜産振興については、いろいろな施策が必要だが、キャトルファームについてはどのくらいの人が必要としていて、どのような規模にするか。1頭あたりの預ける費用はどのくらいか等いろいろ問題

がある。キャトルファームを村が直営するのは無理な話で、JAとのすり合わせ等も必要になる。将来的な部分で、畜産を続けるひとつの施設、手段という部分では理解している。

答 大雨の降る時に浸透池の水質が海に影響を与えることは承知している。他の対策も含めて今後処理をしていきたい。しかし、下水処理、集落内排水処理の計画は各家庭から接続をしないと効果がでない。さらに接続後の利用者負担、水道代プラス下水道代費用がかかるので、今のところ合併処理浄化槽の推進に全力を向けて、努力していきたい。

答 汚水処理施設の種類は下水道、集落排水施設、合併処理浄化槽等の各種種類がある

問 海魚の育成、養殖場もあるが海を大事にするには下水を処理して流すようにしなければいけない。環境汚染というか

処理されない水も流れている。「合併処理に決めた」ではなく、将来の伊江島の環境を良くするため、再度検討できないかお聞きしたい。

が、本村は島の地域性や経済性を考慮して、合併処理浄化槽の推進を図ることが効果的な整備と考え、村の第4次総合計画及び沖繩県下水道等整備構想に基づき、下水処理施設の建設は現在考えていない。集落内と遠隔地を分けた処理施設の方法については、基本的には可能と考えるが、現在のところ合併処理浄化槽の推進を進めながら、島全体の海浜保全対策は他の事業と連携を図りながら対応したい。

議決の結果		平成25年第8回臨時会		
議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
議案第69号	ウミカ溜池排水路整備工事請負契約について	村長	10月25日	原案可決
議案第70号	平成25年度伊江村一般会計補正予算(第4号)	村長	10月25日	原案可決
選挙第1号	選挙管理委員及び補充員の選挙について	村長	10月25日	当選

伊江村議会視察・研修報告

●北部畜産共進会視察(H25.9.26)

今帰仁村家畜セリ市場にて第37回北部地区畜産共進会が開催され、議長、経済・公営企業常任委員で参加。伊江村から4部門に計12頭が出品し厳正な審査の結果、全12頭が入賞し、4部門にて最優秀賞、3部門にて優秀1席の好成績をおさめた。11月に開催される沖縄県畜産共進会へ7頭が出品となり、畜産技術の高さを見ることができた。

●町村議会議員・事務局研修会(H25.10.30~31)

本部町にて町村議会議員・事務局研修会が開催され、全議員及び事務局が参加した。研修会に先立ち、八重岳頂上にて本部半島ジオパーク推進協議会の取り組み状況を、推進協議会比嘉研究員、本部町役場企画政策室知念班長から受けた。今年の日本ジオパークネットワーク加盟は見送られたが、今後の加盟認定に向けた取り組みと、周辺自治体との合意形成の協力をお願いしたいと説明があった。



研修会に先立ち本部町八重岳にてジオパークについて研修▶

午後からは本部町中公民館ホールにて、「道州制と町村自治を考える」と題し、平岡和久立命館大学教授による講演が行われた。現行の都道府県を廃止し、2015年から2017年を目途に導入を目指すとする道州制について専門的研究者の考えとして、導入後は現在以上の地方中央集権方者会になり、地方においては人口の流出、産業の衰退になりかねず、地方の主権を守る上でも現代的再編(現行の自治)による持続可能な地域社会を目指すべきとの提言がなされた。

●沖縄県畜産共進会(H25.11.8~11.9)

第39回県畜産共進会が南部家畜市場にて行われ、本村より4部門に計7頭が出品された。成雌2類部門で優秀二席、成雌1類部門で優秀三席の成績を収めた。残念ながら団体連覇は逃したが次年度に期待したい。



●離島フェア(H25.11.16~17)

「伝える島の伝統 島の物産を」のテーマに離島フェア2013が、那覇市の沖縄セルラーパーク那覇で開催された。今年はポスター図案で西小学校の山城乃天(のあ)さんの作品が最優秀賞を受賞、優良特産品優秀賞に「アイランドハイビスカス」、特別賞に「leOCEAN」が受賞した。また、川平区の民俗芸能やしまくとぅば紙芝居も披露され、存分に伊江島をアピールしていた。



民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書

先の大戦で、沖縄においては一般住民を巻き込んだ国内唯一の壮絶な日米の地上戦が行われ、アメリカ軍の10.10空襲や艦砲射撃など地上・海上からの戦闘行為等が原因で県民の4分の1近い15万人(推定)が命を失い、数えきれない肉体的・精神的障害を生み出し、甚大な財産的損害を被り、言語に絶する苦しみや悲しみを体験し今日に至っております。

沖縄戦の生存被害者は戦後67年後の現在、平均年齢が80歳を越えております。戦争を開始し続行してきた国には、自ら引き起こした戦争被害にけじめをつけ、これを補償する条理上、法的な責任があり、行政や立法により解決すべき責任があります。

アジア太平洋戦争の「沖縄戦」における一般民間戦争被害者のうち戦傷病者戦没者遺族等援護法により援護された被害者以外の数多くの未補償の被害者(死没者の場合はその遺族)に対して国の責任において援護措置を決定し、相当の援護金等を支給する「新たな援護法」を制定することを要請致します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年9月20日
沖縄県国頭郡伊江議会

宛先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 沖縄県及び北方対策担当大臣 厚生労働大臣

【その他の意見書・決議書等】

	意見書・決議書名	宛先
決議第1号	県内へのMV22オスプレイ追加配備及び常駐化につながるF22ラプター暫定配備期間延長に関する抗議決議	内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄防衛局長、駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米総領事、第18航空団司令官
決議第2号	米軍HH60救難用ヘリコプター墜落事故に関する抗議決議	内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄防衛局長、駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米総領事、第18航空団司令官
陳情第1号	県産品の優先使用について	

議決の結果

平成25年第7回定例会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
報告第7号	平成24年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告書の提出について	村長	2013年9月19日	原案報告
報告第8号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	村長	2013年9月19日	原案報告
議案第59号	平成25年度伊江村一般会計補正予算(第3号)	村長	2013年9月19日	原案可決
議案第60号	平成25年度伊江村診療所特別会計補正予算(第2号)	村長	2013年9月19日	原案可決
議案第61号	伊江村過疎地域自立支援促進計画の変更について	村長	2013年9月19日	原案可決
議案第62号	伊江村人材育成会設置条例	村長	2013年9月19日	原案可決
議案第63号	伊江村人材育成基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	村長	2013年9月19日	原案可決
議案第64号	財団法人伊江村人材育成会からの負担付きの贈与を受けることについて	村長	2013年9月19日	原案可決
議案第65号	伊江村芸能振興基金条例の一部を改正する条例	村長	2013年9月19日	原案可決
議案第66号	産業廃棄物処理施設ホイルローダー購入契約について	村長	2013年9月19日	原案可決
議案第67号	東江前第1地区畑地かんがい施設工事(1工区)請負契約について	村長	2013年9月19日	原案可決
議案第68号	東江前第1地区畑地かんがい施設工事(2工区)請負契約について	村長	2013年9月19日	原案可決
認定第2号	平成24年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定について	村長	2013年9月20日	原案認定
認定第3号	平成24年度伊江村診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	村長	2013年9月20日	原案認定
認定第4号	平成24年度伊江村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	村長	2013年9月20日	原案認定
認定第5号	平成24年度伊江村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	村長	2013年9月20日	原案認定
認定第6号	平成24年度伊江村水道事業会計決算の認定について	村長	2013年9月20日	原案認定
認定第7号	平成24年度伊江村船舶運航事業会計決算の認定について	村長	2013年9月20日	原案認定
陳情第1号	県産品の優先使用について	議員	2013年9月20日	原案採択
意見書第3号	民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書	議員	2013年9月20日	原案可決
決議書第1号	県内へのMV22オスプレイ追加配備及び常駐化につながるF22ラプター暫定配備期間延長に関する抗議決議	議員	2013年9月20日	原案可決
決議書第2号	米軍HH60救難用ヘリコプター墜落事故に関する抗議決議	議員	2013年9月20日	原案可決

- 1.日 程：平成25年10月21日～24日
- 2.視 察 先：大阪府、島根県（隠岐郡海士町）
- 3.調査事件：①地域振興の取り組みについて
②新エネルギー政策の取り組みについて
- 4.派遣委員：経・公委員長 知念 一邦
経・公副委員長 山城 克己
経・公副委員 仲宗 根清夫、内間 広樹

**経済・公営企業
常任委員会
所管事務
調査**

5.調査：

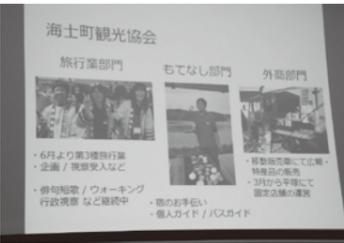
【大阪府】10/21

南大阪湾岸流域下水南部水みらいセンターにて、センター長の秋田氏より下水処理施設、太陽光発電システムの説明を受ける。下水処理施設は6つの層からなり水質検査を経て大阪湾へ放流されるほか散水水として有効利用されている。太陽光発電システムは施設内3haに太陽光発電システムを設置し非常用電源の確保と平常時には電気事業者へ売電を行う独立採算事業である。



【島根県隠岐郡海士町】10/22～23

海士町初日、オリエンテーションはスリランカ出身のサミーラ・グナワラデナ氏より、海士町の取り組みについて説明を受けた。



単独町制の選択、生き残りのための守りの選択、生き残りを賭けた攻めの戦略、未来を支える人づくり、最後尾から最先端への挑戦、Uターン、Iターン者の発案を積極的に取り入れ行政改革、産業振興、子育て支援を町民一体となって取り組んでいる状況を確認することができた。



- 1.日 程：平成25年10月1日～4日
- 2.視 察 先：福島市、宮城県石巻市及び南三陸町
- 3.調査事件：①東北被災地研修視察
②島らっきょう関連業社視察
- 4.派遣委員：総務委員長 内田 竹保
総務副委員長 友寄 祐吉
総務委員 名嘉 實、渡久地 政雄
議長(随行) 亀里 敏郎

**総務常任
委員会
所管事務
調査**

5.調査：

【福島市】10/2

ラジオ福島にてラジオ福島編成局長の大和田 新氏より、震災後から現在の福島の現状について説明を受ける。その後、(株)北庄フェーバー菅野代表と合流し、(有)八島食品に伺い代表の八島氏と会社の現状や伊江島産らっきょうについて説明を受けた後、工場を視察。



【宮城県石巻市】10/2

被災地ガイドと共に石巻の被災状況の説明と現場を視察する。



【宮城県南三陸町】10/3

南三陸町役場にて後藤清喜議長、佐藤 仁町長、佐々木危機管理課長より震災当時の映像や南三陸町の現状等について説明を受け、その後津波の被害で職員が亡くなった防災庁舎センターを視察。その後高台にある中学校から震災以前の町と震災後の現在の様子について概要説明を受ける。

